



サイクル・エイド事業

平成 26 年度 事業報告書



自転車がつなぐ国際交流 フィリピン

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

《目次》

1. 事業の概要	1
2. 公益社団法人 アジア協会アジア友の会について	1
3. 平成26(2014)年度事業報告	2
(1) 自転車の寄贈	2
(2) 事業推進のための広報活動の実施	6
(3) 国際交流プログラム	8
◆ サイクル・エイド事業 写真	10

【資料】

サイクル・エイド支援会議 規約	18
サイクル・エイド支援会議 委員名簿	19
サイクル・エイド事業の経過	20
サイクル・エイド事業実績の推移	21

1. 事業の概要

「放置自転車を再生し、世界の子どもたちに贈ろう！」を合言葉に、大阪府の音頭によって誕生したサイクル・エイドは、放置自転車を府内市町村の協力のもと修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

大阪府内の放置自転車の数は、年間 50 万台に上るともいわれ、そのうち約半数は引き取り手がないために各市町村で処分されており、大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数が十分でないため、長時間歩いて学校に通うこととなり、また遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもたちに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与するとともに、国際交流の絆を深めることを、この事業の目的としている。また放置自転車を府内市町村の協力のもと修理、再生し、リデュース・リユース・リサイクルの好循環によって、大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを、目指している。

平成 17 年度より、アジア協会アジア友の会が事務局となり、この事業を実施している。また、大阪府知事を委員長とするサイクル・エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

(参考：資料「サイクル・エイド支援会議規約」
「サイクル・エイド支援会議委員名簿」)

2. 公益社団法人アジア協会アジア友の会について

公益社団法人アジア協会アジア友の会は、アジアに暮らす人々のネットワークを通じて「貧困なきアジア共同体」の形成を目指す、国際民間協力団体(NGO-Non Governmental Organization)である。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979 年に発足した。

現在、それぞれの地域に見合った活動をよりきめ細かに行うために、アジア 18 ヶ国 68 ヶ所にある現地提携団体とネットワークを形成し、その中央事務所を大阪にしている。

アジアの人々との「理解と協力と連帯」を目指して、安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として活動している。



3. 平成 26 (2014) 年度事業報告

(1) 自転車の寄贈

◆自転車の提供 計 731 台

放置自転車を収集するために、府内各市町村へ協力の呼びかけを実施。今年度は下記の 6 市から協力を得ることができた。回収された自転車は各市で選別、修理、再生後に泉大津市にある堺泉北港へ運搬され、海上輸送された。

◆府内協力市及び台数

堺市 200 台、八尾市 200 台、阪南市 100 台、
泉大津市 100 台、大阪市 100 台、四條畷市 30 台、その他 1 台

平成 26 年度はカンボジアに 381 台、フィリピンに 350 台、合計 731 台の自転車が寄贈された。事業開始以来、アジア、アフリカの 10 ヶ国に合計 28,620 台の自転車を贈ることができた。

カンボジア	381 台
-------	-------

カンボジアに贈られた自転車は、KAFS (注 1) が現地受け入れ団体として調整をおこない、青少年や女性たちを中心にタケオ州の農村地域 (バティ郡コマーリチェア村、キリヴォング郡コープリーチ村他) に寄贈され、通学や仕事のために活用されている。

3月8日の世界女性デーに合わせておこなわれた自転車贈呈式典では、自転車を活用することで、女性たちもより効率よく生活環境を整え仕事に取り組めるようになり、農村地域の女性たちの地位向上への取り組みも期待される。式典には700名以上の村人が参加し、住民の関心の高さが伺われる。また、優秀で勉強を続けたいが、経済的理由から進学をあきらめていた小・中・高校生の子ども達にも寄贈され、今後も継続した教育を受けることができるようになった。

自転車の寄贈には、公平でより必要とされている人々に贈れるよう、政府、現地 NGO (KAFS)、村の組織等で協力体制をとりながら、取り組んでいる。

自転車は公共交通機関が十分でない農村地域で学校に通うための重要な手段であり、特に貧しい家庭の子ども達に贈られることによって、家計への負担を軽減、地域の貧困解消の一助となり、教育をはじめ福祉環境の改善が期待される。

また経済環境に恵まれないが熱心に学んでいる成績優秀者に自転車を贈ることによって、生徒達の勉学への励みにもなっている。

自転車をシアヌークビルの港からタケオ州までの陸路を移動させるのには、多くの人々の協力によって可能となった。

※注 1

◆クメール・アジア友の会 = KAFS (Khmer Asian Friendship Society)

会 長：セン・リム・ネウ氏 (内閣官房事務次官)

所在地：カンボジア・プノンペン

活動地域：タケオ州、コンボンチュナン州、コンボンスプー州、
カンダール州周辺



子ども達へ自転車寄贈（カンボジア タケオ州）

フィリピン 350 台

フィリピンに贈られた自転車は、KALIPI（注2）が現地受け入れ団体として調整をおこない、ヌエバエシハ州カビアオ町の子どもの通学に加え、医療従事者の巡回、貧しい農民、自警団に手渡され、有効に活用されている。3/23～27には卒業の時期にあわせ、パラシナン小学校、サンフェルナンドノーテ村、エンタブラオ小学校、サンローテ村、カビアオ町ホール、セント ジョセフ小学校、セントイザベル小学校で自転車贈呈式典や国際交流プログラムが行われた。

プログラムでは事業が人々によりわかりやすいように、“Bicycle for Education” “Bicycle for Peace” “Bicycle for Health” を合言葉に、自転車を教育・健康・安全のために有効活用していくことを確認し、地域の教育や福祉環境の向上に町民一丸となって取り組むこととなった。

自転車が贈られることによって、それまで不可能だった通学や仕事の効率化、生活の改善を可能にし、受益者達が自立への第一歩を踏み出せるようになった。そのことが地域社会福祉の底上げとなり、よりよい地域社会の創造につながっている。9年前に贈られた自転車は今も大切に活用されており、自転車の活用によって、生活環境が少しずつだが確実に変わっている状況を知ることができた。

貧しい人々が集まって住んでいた地域の環境改善、生業の確保、観光資源の創造等、地域の意識を変え、NGO、行政、村人等が世代、国境を越えて協力していく仕組みづくりが進められている。

また地球環境保全への意識を高めることで、同じ地球の住民としての視点を持ち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を広げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、人と人の絆が深まることによって、草の根の理解と協力の輪が広がることが期待される。

フィリピン



ヌエバエシハ州



フィリピン寄贈先 地図

※注2

◆カリピ財団 (KALIPI Foundation)

代表者：ジミー・クナナン氏

所在地：フィリピン・ルソン島ヌエバエシハ州サン・レオナルド

活動範囲：フィリピン・ルソン島ヌエバエシハ州サン・レオナルド周辺

基本的目標：地方の貧しい人々の生活の向上と村の開発

【沿革】 KALIPI はタガログ語で、「同じ種族、人種、同胞」という意味を持つ。

1984年に KALIPI 財団の前身の AFS フィリピンに参加。困窮した田舎の地域に、安全な飲み水を供給する深井戸を本会の協力を得て寄贈する計画を実行。環境保全、人材育成の分野において、農村地区の自立へ向けて幅広い活動を行っている。

【活動】 井戸建設、植林プロジェクト、豚の銀行プロジェクト、人材育成事業、地域開発・環境保全等



サイクル・エイド事業の説明（フィリピン カビアオ町）

(2) 事業推進のための広報活動の実施

① 事業 PR 用パネルの活用

事業の説明や写真を載せたパネルを活用し、イベント等で広く一般への広報活動をおこなった。

② 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 HP による情報発信

<http://www.jafs.or.jp/cycleaid/index.html>

大阪府 HP による情報発信

<http://www.pref.osaka.jp/kokusai/cycleaid/index.html>

③ 広報媒体による情報発信

JAFS 機関紙「アジアネット」に掲載

④ 各種イベントとの連携、企業への協賛金依頼

大阪府自転車軽自動車商業協同組合からは修理キットの無償提供、港までの運搬のご協力をいただいた。

さらに下記イベントにおいてサイクル・エイド事業の活動紹介を行い、募金活動など実施した。

⑤ 文化放送『日曜はがんばらない』JKA インフォメーション「RING! RING! RING! プロジェクト」で活動紹介

■ さつき祭

日程：2014年5月5日(月・祝) 場所：堺市山之口商店街

主催：開口神社

内容：子ども達の健やかな成長を願う祭りの場で地域のご協力のもと、サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介をおこなった。また、アジアの民芸品や飲食の販売をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

■ 泉大津フェニックス野外コンサート

日程：2014年8月30日(土)、31日(日)、
9月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

場所：泉大津フェニックス

主催：泉大津フェニックス夏フェス14実行委員会事務局

来場者数：合計 約66,320人

内容：泉大津フェニックスが誕生した新しい町「夕凧町」では、空と海、そして全面芝生という心地よい空間で、野外コンサート等各種イベントが開催されている。今年度は8月30日 KANA-BOON 野外ワンマンヨイサヨイサのただいまつり in 泉大津フェニックス、8月31日 RUSHBALL2014、9月6日、7日 OTODAMA'14～音泉魂～、9月13日、14日 OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2014 が開催され、多くの音楽ファンを魅了した。コンサート主催者の多大なる協力のもと、会場内のブースでサイクル・エイド事業の活動紹介とチャリティバザーをおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

■ 四條畷市民の集い

日程：2014年10月26日(日) 場所：四條畷市

主催：市民憲章推進協議会

内容：第40回市民の集いの会場で、サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介をおこなった。また、アジアの民芸品や飲食の販売をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

■ サイクル・エイド募金箱の設置

日程：2014年4月1日～2015年3月31日

場所：大阪府パスポートセンター本所

内容：再生自転車の海外輸送費を確保するため募金箱を設置し、寄付の呼びかけを行った。パスポートの申請に来る一般市民へ、大阪府発の国際協力事業として本事業の紹介をおこない、輸送費への協力を得ることができた。

■ 平成26年度サイクル・エイド支援会議の開催

日程：2014年6月25日(水) 14時～15時30分

場所：大阪府庁内 会議室

出席者：14名

内容：平成25年度事業報告、決算、現地状況報告、平成26年度事業計画(案)及び予算(案)、サイクル・エイド事業の今後について会議を行った。

サイクル・エイド支援会議委員長代理の大阪府中村国際交流課長、同副委員長代理として公益社団法人アジア協会アジア友の会の村上事務局長が、それぞれ

挨拶を行い、副委員長代理が議長として議事を進行した。

議題1「平成25年度事業報告、決算」、議題2「現地状況報告」、議題3「平成26年度事業計画（案）及び予算（案）」について、公益社団法人アジア協会アジア友の会の村上事務局長と橋本理事が資料に基づき詳細に説明を行った。次年度の事業計画（案）および予算（案）については、委員、顧問から貴重な意見をいただいた。

変化していく社会情勢の中、自転車の提供、寄附・募金への協力が非常に厳しい状況にある。事業に必要な資金、物資を調達するため、さらなる事業予算の効率かつ効果的な活用を推進するとともに、協力体制を組み、新たな協力を団体や個人に働きかけていくこととなった。

（3）国際交流プログラム

◆国際交流プログラム

【京都府京丹波町にて国際交流プログラム】

日 時：2014年4月1日（火）

場 所：京都府京丹波町

参加者：30名

協 力：南丹市国際交流協会、NPO 法人丹波ネット

内 容：タイ文化紹介、サイクル・エイド活動報告、農作業体験、交流

【大阪府表敬訪問・意見交換】

日 時：2014年4月3日（木）

場 所：大阪府庁

参加者：17名

内 容：サイクル・エイド活動報告、意見交換、交流



【大阪市表敬訪問・意見交換】

日 時：2014年4月3日（木）

場 所：大阪市役所

参加者：16名

内 容：サイクル・エイド活動報告、意見交換、交流

【堺市表敬訪問・意見交換】

日 時：2014年4月4日（金）

場 所：堺市役所

参加者：18名

内 容：サイクル・エイド活動報告、意見交換、交流

【大阪府立大学にて国際交流プログラム】

日 時：2014年4月5日（土）

場 所：大阪府堺市

参加者：300名

協 力：大阪府立大学

内 容：タイ文化紹介、サイクル・エイド活動報告、交流

【フィリピン ヌエバエシハ州カビアオ町 国際交流プログラム】

日 時：2015年3月23日（月）～27日（金）

場 所：フィリピン ヌエバエシハ州カビアオ町
パラシナ小学校、サンフェルナンドノーテ村、
エンタブラオ小学校、サンローテ村、
カビアオ町ホール、セント ジョセフ小学校

参加者：延べ約1,500名

内 容：自転車寄贈先であるフィリピン ヌエバエシハ州カビアオ町で行政・学校（教師・保護者・子ども）・保健婦・自警団・農民等の村人達を対象に、現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこなった。現地では“自転車を教育・健康・安全”のために有効活用していくことを確認し、地域の教育や福祉環境の向上に市民一丸となって取り組みこととなった。また、日本とフィリピンの互いの国を知ることによって、今後の協力関係もより強固になっていくと思われる。





自転車贈呈の準備をすすめるボランティア（カンボジア タケオ州）



多くの村人が式典に参加（カンボジア タケオ州）



事業について説明（カンボジア タケオ州）



自転車の活用によって女性の地位向上も（カンボジア タケオ州）



自転車の到着を喜ぶ子ども達（カンボジア タケオ州）



自転車で勉強を続けることが可能に（カンボジア タケオ州）



サンフェルナルドノーテ自転車贈呈式典（フィリピン カビアオ町）



サンローテ村 巡回診療をする保健婦への寄贈（フィリピン カビアオ町）



サンローテ村の安全を守る自警団も自転車を活用（フィリピン カビアオ町）



補助物件シール貼られた寄贈自転車（フィリピン カビアオ町）



セントジョセフ 子ども・先生・保護者との意見交換会 (フィリピン カビアオ町)



9年前の自転車を今も大切に使っている村人 (フィリピン)



エンタブラオ小学校で国際交流プログラム（フィリピン カビアオ町）



国際交流プログラムで農業体験（京都府南丹市）



堺市表敬訪問・意見交換（大阪府堺市）



大阪府立大学で国際交流（大阪府）

サイクル・エイド支援会議規約

(名称)

第1条 本会は、サイクル・エイド支援会議という。

(目的)

第2条 本会は、大阪府内に放置されている自転車等を再生し、これをアジア・アフリカをはじめ、自転車が必要とする子ども達等に贈る、社団法人アジア協会アジア友の会が実施するサイクル・エイド事業が、円滑に推進できるよう助言及び支援を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、前条に掲げる目的に賛同し、推進する関係団体（以下「構成団体」という）をもって組織する。

(委員)

第4条 構成団体を代表する者をもって委員とする。
ただし、委員は代理をもって充てることができる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員)

第6条 1 本会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 事務局長 1名

2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選任する。

第7条 1 委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
2 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。
3 事務局長は、社団法人アジア協会アジア友の会の事務局長をあて、本会の事務を司る。

(顧問)

第8条 本会に、顧問を置くことができる。

(専門部会)

第9条 本会に、次の専門部会を置く。

- (1) 資金調達部会
- (2) 物資調達部会

(会議)

第10条 必要に応じ、会議を開催する。

附則 この規約は平成17年4月1日から施行する。
この規約は平成21年3月25日から施行する。(一部改正)

サイクル・エイド支援会議委員名簿

平成 27 年 4 月

〔委員長〕

松井 一郎 大阪府知事

〔副委員長〕

萩尾 千里 公益社団法人 アジア協会アジア友の会会長

〔委員〕

児玉 達樹 大阪商工会議所 常務理事兼事務局長
竹山 修身 堺市長
田中 誠太 大阪府市長会 会長（八尾市長）
辻野 英昭 大阪府自転車軽自動車商業協同組合 理事長
堂本 佳秀 公益財団法人 大阪国際交流財団 理事長
野澤 隆寛 一般財団法人 自転車産業振興協会 会長
橋下 徹 大阪市長
堀井 良殷 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会 理事長
松本 昌親 大阪府町村長会 会長（千早赤阪村長）
渡辺 恵次 一般財団法人 自転車協会理事長

〔事務局長〕

村上 公彦 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 事務局長
〔事務局：（公社）アジア協会アジア友の会内〕

〔顧問〕

アンドリュース ヤング 元アトランタ市長
下中 融 元熊取町長
永山 一郎 特定医療法人三和会 会長
向江 昇 元泉佐野市長

* 委員。顧問は五十音順

サイクル・エイド事業の経過

- 平成9年4月：アトランタ市の元市長、元米国国連大使であるアンドリュー・ヤング大使の呼びかけに応え、大阪府、関係市等で委員を構成するサイクル・エイド委員会を発足。
- 平成15年8月：第11回サイクル・エイド委員会で、今後の運営のあり方について検討を行うことを決定。
- 平成16年8月：第12回サイクル・エイド委員会において、平成17年度からサイクル・エイド事業を、社団法人アジア協会アジア友の会が主体となって実施することを了承。
- 平成17年3月：サイクル・エイド支援会議準備会議開催。
- 平成17年4月：社団法人アジア協会アジア友の会が実施主体となるサイクル・エイド事業がスタート。また、サイクル・エイド事業の円滑な推進を図るための支援を行う「サイクル・エイド支援会議」が発足。

サイクル・エイド事業実績の推移(単位:台)

2015年3月31日

年度(年)	平成9～16年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計	
西暦	1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		
寄贈自転車台数	15,706	1,890	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	28,620	
寄贈先	南アフリカ	11,073										11,073	
	(コンテナ本数)	*134										*134	
	フィリピン	1,080	579	1,090	807	880	510	350		350		350	5,996
	スリランカ	1,150	807										1,957
	カンボジア	683	504	725	680							381	2,973
	タンザニア	1,180											1,180
	イスラエル	340											340
	タイ			340	340	670	1,380	330	370	350	701		4,481
	ベトナム				340								340
	マダガスカル	200											200
	東日本大震災被災地								40	40			80

年度(年)	平成9～16年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計	
西暦	1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		
協力市寄贈数	16,556	1,040	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	28,620	
提供市	堺市	7,057	440	935	940	320	360	140	80	210	200	200	10,882
	泉佐野市	2,832	100	300	200	200	200						3,832
	八尾市	2,325		200	220	280	510	200	100	270	200	200	4,505
	松原市	1,280	200	150	150	110	200						2,090
	阪南市	542	120	120	120	150	120	120	100	120	101	100	1,713
	吹田市	500	100	45									645
	大阪市	612									100	100	812
	泉大津市	300		100	101	130	200	100	50	100	100	100	1,281
	藤井寺市	299											299
	泉南市	51	80	155	156								442
	箕面市	285											285
	柏原市	250											250
	高石市	30		150	200	120	180	80	30				790
	貝塚市	100											100
	豊中市	50											50
	寝屋川市	50			80	240	150						520
	和泉市	20											20
	四條畷市							30	40	40		30	140
	民間	3										1	4
	保管						-20	10	10				0
スクラップ	-30					-10						-40	



平成 27 年 6 月発行

編集・発行 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL : 06-6444-0587 FAX : 06-6444-0581

ホームページ : <http://www.jafs.or.jp> E - メール : asia@jafs.or.jp



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>